

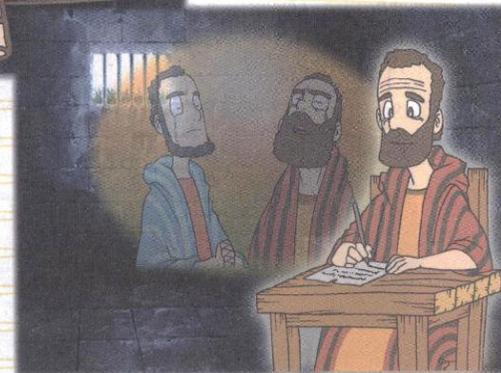


1. 救いの感激があります II テモテ 1:1~5

- (1) 神様に感謝します
- (2) 涙を考えます
- (3) 献身します

2. 福音の涙が通じます

- (1) 毎日、福音の涙が通じます
- (2) 人を見るとき、福音の涙が通じます
- (3) 事件に会うとき、福音の涙が通じます

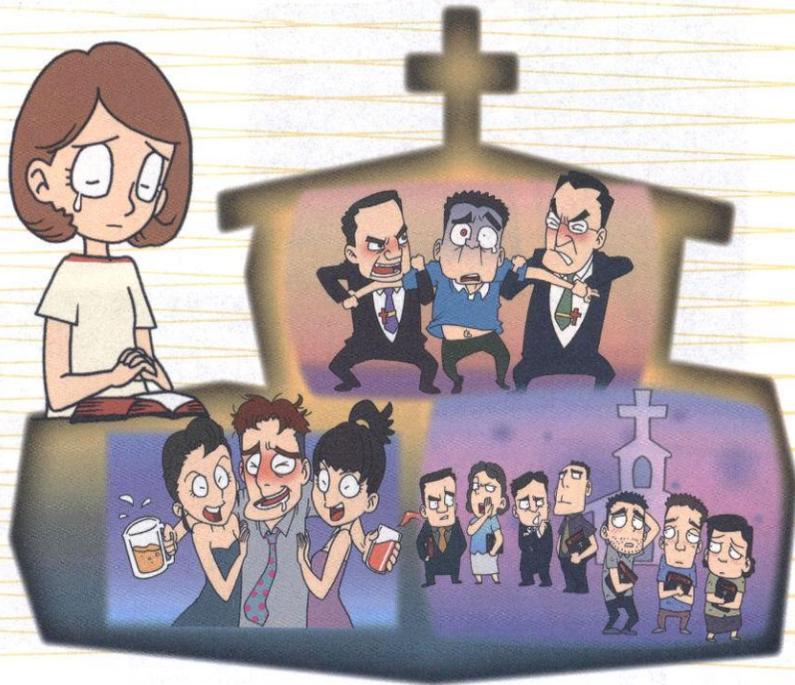


### 3. 教会のための涙が通じます

- (1) 葛藤を見るとき、教会のための涙が通じます
- (2) 教会の争いを見るとき、教会のための涙が通じます
- (3) 間違っただけを聞くとき、教会のための涙が通じます

### 4. 伝道すべきという涙が通じます

- (1) 現場を見るとき、伝道すべきという涙が通じます
- (2) 未信者の仕事を見るとき、伝道すべきという涙が通じます
- (3) 世を見るとき、伝道すべきという涙が通じます



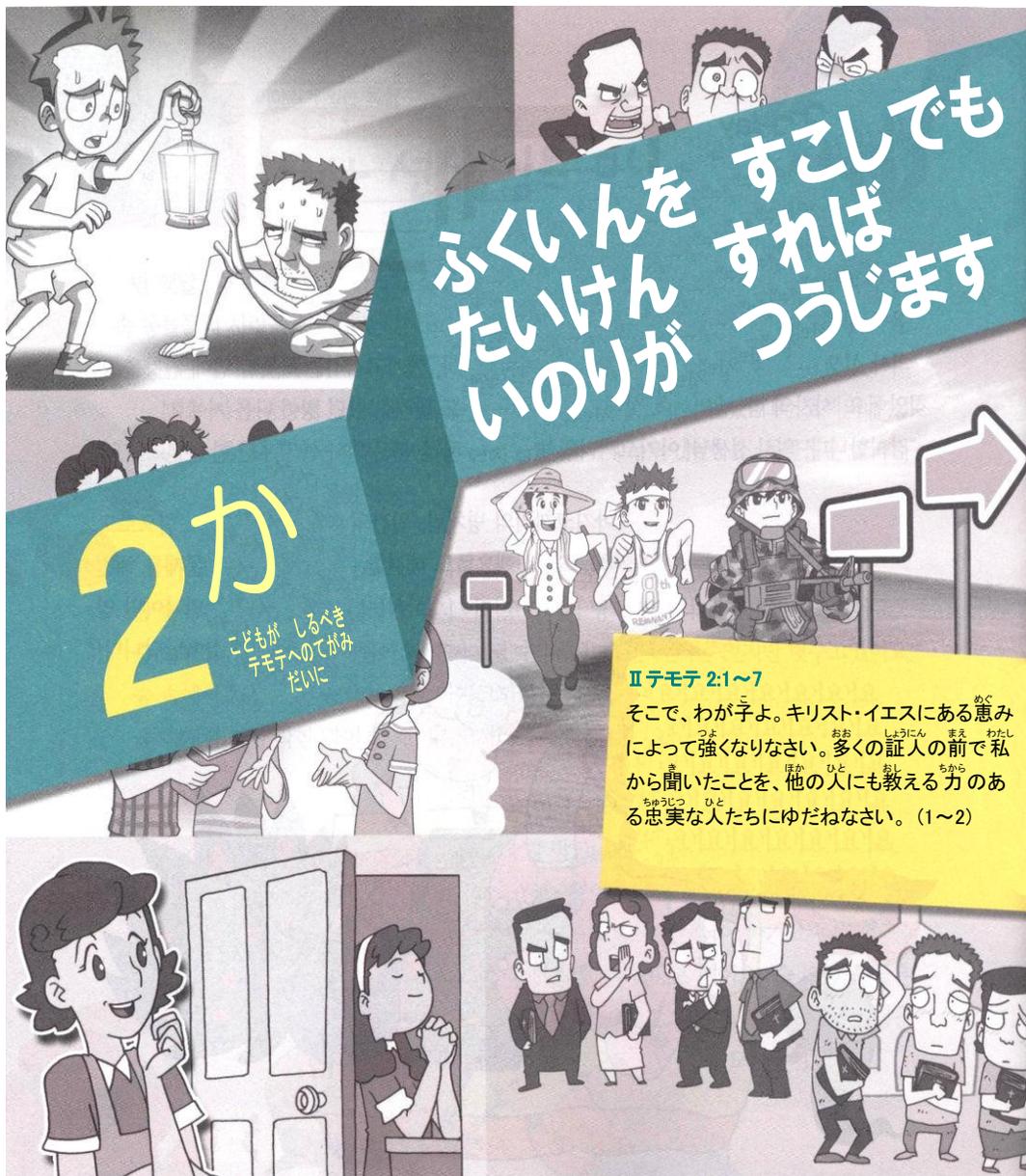
### ■ 背景のはなし テモテへの手紙第二について

先月に読んだテモテへの手紙第一を覚えていますか。テモテへの手紙第二はパウロがもういちど監獄に閉じ込められていたときに書いた手紙で、テモテへの手紙第一のあとに書かれた手紙です。テモテへの手紙第二を書いたとき、パウロはからだ弱くなっていて、もう長く生きることはないときでした。パウロは愛する弟子テモテに、重要な契約を伝えるためにテモテへの手紙第二を書きました。テモテへの手紙第二は、福音をかたく握って、福音を伝えなさいと頼んだ内容が入っています。福音が勝利することを確信した内容も入っています。パウロは、テモテの本当のお父さんではなかったのですが、聞いた福音を通じて霊的な親子のようでした。パウロとテモテは、葛藤がある教会と暗やみの勢力がいっぱいになっているこの世に、まことの福音が必要であることを知っていました。そして、救いの感謝を心に抱いて、福音が必要などころを見て、涙を流す伝道者でした。このように福音の情念を持ったパウロとテモテを通じて、神様はあらゆる民族に福音を伝えられました。パウロが死ぬ前に一生の使命を込めて書いた手紙を読んで、神様が私にくださる使命はなにかを考えてみましょう。



### ■ 考えてみよう

- ① パウロがテモテへの手紙第二を通してテモテに一番伝えたかった内容はなんですか。
- ② パウロとテモテに通じた涙はどんな意味があったのでしょうか。



1. 神様の人と祈りが通じます II テモテ 2:1~2

(1) 教役者と使命者です

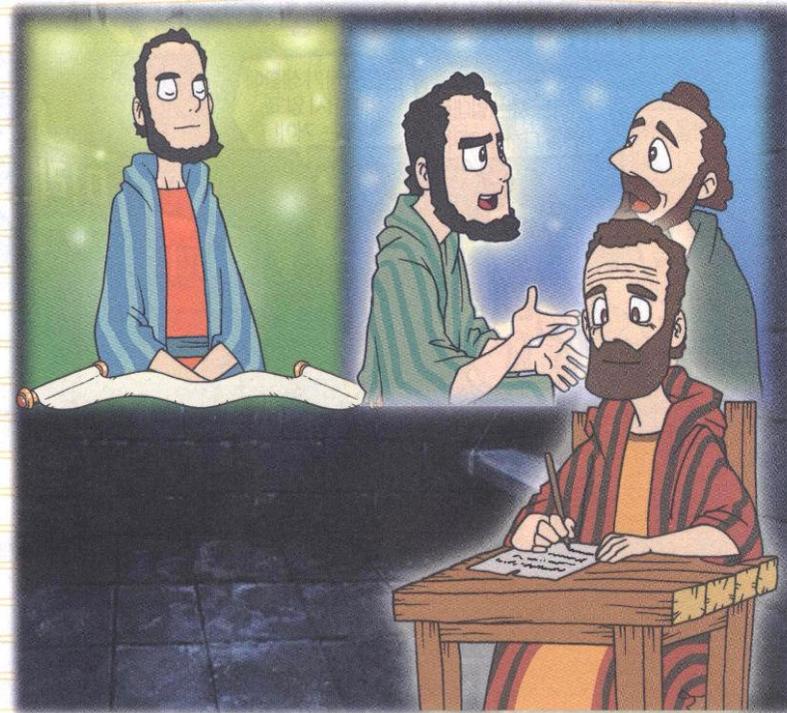
パウロはテモテに「わが子よ」と言いました

(2) キリストにある恵みによって強くなります

力を受けます

(3) 忠実な人です

証人の前で聞いたことを、忠実な人にゆだねなさいと言いました。



2. 答えが通じます II テモテ2:3~6

- (1) イエス・キリストの兵士だと言いました
- (2) 競技する者だと言いました
- (3) 労苦する農夫だと言いました

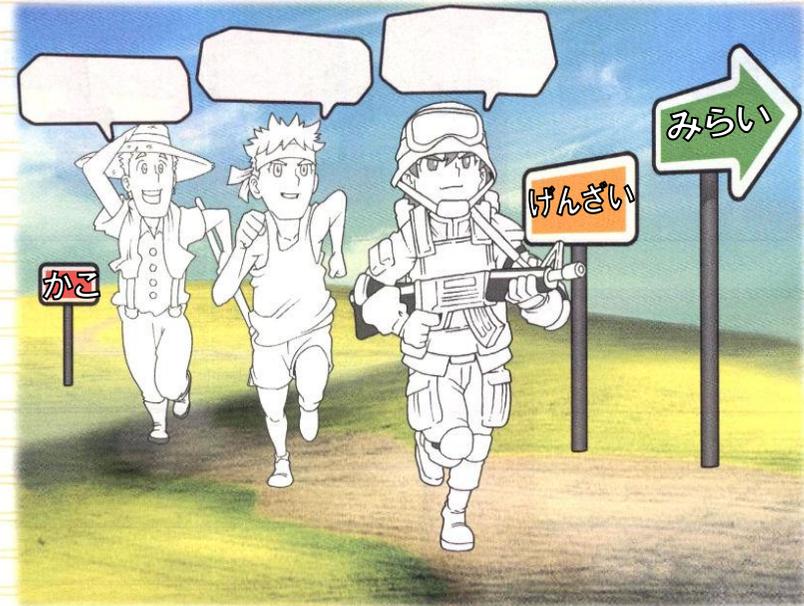
3. 未来のことが通じます II テモテ2:7

- (1) 神様はすべてのことについて（過去、今日、未来）導いてくださいます
- (2) 理解する力（道）をくださると言われました



■ ぬりえ 兵士、競技する者、農夫になった私たち！

神様は私を、福音を体験する兵士、競技する者、農夫として呼ばれました。  
絵にきれいに色をぬって、私にくださった使命を考えましょう。



■ 考えてみよう

- ① 牧師先生、伝道師先生のような神様の人と福音で通じる方法は何でしょうか
  - ② 兵士と競技する者、農夫の意味は何でしょうか
- II テモテ 2:3~6 のみことばを読んで、考えてみましょう。



ちゅうじつな こどもは  
みことばを したいものとめます

3か  
こどもが しるべき  
テモテへのてがみ  
だいに

**II テモテ 3:14~17**  
 また、幼いころから聖書に親しんで来たことを  
 知っているからです。聖書はあなたに知恵を  
 与えてキリスト・イエスに対する信仰による救い  
 を受けさせることができるのです。聖書はすべ  
 て、神の霊感によるもので、教えと戒めと矯正  
 と義の訓練とのために有益です。(15~16)

1. 終わりの日には困難な時代がやってくると預言しています
  - (1) 終わりの時のしるしがあらわれ、争いが起きることを預言しました
  - (2) 自分を愛して、神様を愛することがない時代を預言しました
  - (3) 異端があらわれる時代が来ることを預言しました
2. かならずすべきことがあります II テモテ 3:14~17
  - (1) 幼いころからみことばが刻印されなければなりません
  - (2) 確信したところにとどまっていなければなりません
  - (3) その中にとどまる生活をしなければなりません



### 3. みことばは力があります

- (1) 私たちを生かす力があります  
教えと戒めと矯正と義の訓練をします
- (2) 神様の靈感によってできた本です  
預言者、使徒に与えられたみことばです
- (3) 十分に整えられた者にする力があります  
まことの変化をさせる力があります。

そうか！これから  
このようにすべき  
なんだな！



あの字は、みことば  
を見て、あんな  
に変わったのね！



### ■ 聖書を覚えよう みことばの力と能力を体験しよう

神様がくださるみことばには、とても大きな知恵と力があります。テモテへの手紙第二  
章 14~17節を書き写して、この時代に必ず必要なみことばの力を黙想しましょう。

#### テモテへの手紙第二 3 章 14~17節

14 けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっていなさい。あなたは自分が、どの  
人たちからそれを学んだかを知っており、

15 また、幼いころから聖書に親しんで来たことを知っているから  
です。聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰  
による救いを受けさせることができます。

16 聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと  
矯正と義の訓練とのために有益です。

17 それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわ  
しい十分に整えられた者となるためです。

### ■ 考えてみよう

- ① パウロがテモテへの手紙第二を通してテモテに一番伝えたかった  
内容はなんでしょうか。
- ② パウロとテモテに通じた涙はどんな意味があったのでしょうか。

(1課と同じ内容ですが、原稿のまま訳しています。それぞれ教師が考えて質問して  
くださいませよう、お願いします：訳者注)



1. 伝道は小さくて大きな使命によってはじまります II テモテ 4:1

- (1) 創造主である神様の御前ではじまります
- (2) 生きた人と死んだ人をさばかれるキリストの御前ではじまります
- (3) 終わりのときに御國をおいてはじまります

2. 私に与えられたみことばを伝えることがはじまりです II テモテ 4:2

- (1) 時が良くても悪くても神様の時刻表に従って伝えます
- (2) 責めることと勇気をくださるみことばを伝えます  
生かす力を伝えます
- (3) 寛容をつくしてみことばを伝えるとき、神様がなさる働きがあります



3. 小さな生活で伝道者の祝福を味わえば、もっとも大きな生活になります

II テモテ4:3~5

- (1) 健全な教えに耳を貸そうとしない人がいます  
暗やみの勢力の教えを受ける人がいます
- (2) 自分の欲が良い時代です  
悪い行いをする時代です
- (3) 伝道者の生活をする人が必要な現場があります  
光が必要な現場があります



■ クイズ テモテへの手紙第二クイズ

下線部に入ることばを書きましょう

- ①パウロは\_\_\_\_\_にいたときに、テモテへの手紙第二を書きました
- ②テモテへの手紙第二は、パウロがテモテに書いた\_\_\_\_\_です
- ③子どもでも、\_\_\_\_\_を知れば伝道は簡単にできます  
(ヒント! 4課のタイトル)
- ④みことばは、神様の\_\_\_\_\_によって書かれたものです
- ⑤終わりのときには\_\_\_\_\_が来ると言われました
- ⑥私たちは神様の\_\_\_\_\_、競技する者、農夫です。

711~9) いひんがゆふのこ⑤ りんがゆふ⑦  
いひんがゆふ⑥ りんがゆふ⑧  
いひんがゆふ④ りんがゆふ①  
いひんがゆふ② りんがゆふ③

考えてみよう

- ①伝道がなぜ苦しくて大変だと感じるのですか
- ②伝道のほんとうの意味はなんですか